



南風原高等学校・南風原高等支援学校

なん ふう  
南 風

校長だより

令和5年10月18日(水)

発行者 校長 西原 誠

## 2023『舞台祭』～青春の血を燃やせ 我らが主役だ 舞台祭～

9月28日(木)29日(金)に校内で3年に1度の舞台祭を開催しました。「①平素の学習活動の成果を総合的に生かす発表を行う ②企画力・創造力・実行力・集団力を養う。③自主的な運営を経験し、HR 活動や生徒会活動の活発化を図る。④生徒間及び生徒と教師の絆を深める。」をねらいとして生徒実行委員会を中心に開催されました。各クラスとも工夫を凝らし素晴らしい舞台発表を披露してくれました。大いに盛り上がり、生徒たちは明るく元気よく飛び跳ね、声援や拍手そして指笛をおくり、はじけた姿を見せていました。クラスの絆が深まり、さらにクラス・学年を越えた親交も見られ、高校時代の思い出になる大きな行事になったことと思います。



## アメリカの高校生と文通を通して交流しよう！

体育科の照屋先生が年3回(予定)、アメリカに住む高校生と英語で手紙を書き、交流を深めよう！と生徒へ呼びかけ、今回は2年生のLHRの時間を利用してチャレンジしました。生徒たちは得意でない英語に苦戦しながら、友だちや先生と協働で①自己紹介②自分の好きなことや趣味③沖縄の紹介④質問等々を英語で四苦八苦しながら書き上げていました。昨今はICTの活用が当たり前になり、手紙ではなく、メールやLINE等でのやり取りをする生徒が多く、ましてや外国の方へ英語で手紙を書き、交流をするといった、あまり経験できない貴重な機会を持つことが出来ました。返事が待ち遠しいです。



## エチオピアとオンラインで繋ぎ、遠隔授業を通して、将来を考えよう！

現在エチオピアの国連機関で平和教育の専門家として活動中の「森谷香純」さんが講師となり、2年生のクラスでオンライン授業を実施。企画したのは、体育科の照屋先生。照屋先生は以前、JICAボランティア活動をしている時、ヨルダンで森谷さんと出会った。森谷さんは「他の人の生き方から自分自身を見つめよう。自分とはどんな人？」をテーマに講話された。**グローバルな視点**で自分の将来像を描き、目標を設定するといった内容である。生徒たちは遠いエチオピア在の森谷さんとオンラインで繋がり、リアルタイムで話しを聞くことが出来、質疑等を通して、自分の将来を考えるきっかけとなる有意義な時間となりました。

